

2013年度 中央大学共同研究費 一研究報告書一

研究代表者	所属機関	文学部		2013年度助成額
	氏名	都筑 学		2,984 (千円)
	NAME			
研究課題名	和文	中央大学における発達障害をかかえる学生の実態把握と教育・発達の支援に関する研究	研究期間	2012年度 ～2013年度
	英文			

1. 研究組織

	研究代表者及び研究分担者		役割分担	備考
	氏名	所属機関/部局/職		
1	都筑 学	中央大学・文学部・教授	統括・人格発達研究	研究代表者
2	山科 満	中央大学・文学部・教授	心身関連研究	研究分担者
3	緑川 晶	中央大学・文学部・教授	認知・感覚研究	研究分担者
4	宮崎 伸一	中央大学・法学部・教授	心身関連研究	研究分担者
5	上林 靖子	中央大学・文学部・元教授	対人関係研究	学外研究分担者
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
合計		5 名		

2. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 1000 字程度、英文 100word 程度）

（和文）

本研究は、昨年度に引き続き、次の 3 つの課題を検討することによって、中央大学における発達障害の学生に対する教育的・発達の支援システムのあり方について考察し、彼らに対する支援の課題を提起することを目的としていた。

課題 1 中央大学における発達障害をかかえる学生の生活や意識の実態把握

課題 2 高等教育機関における発達障害をかかえる学生に対する支援の現状把握

課題 3 中央大学における発達障害の学生への支援のあり方についての提起

本年度はプロジェクトチーム研究会を 18 回実施した。

4 月には、理工・文学部の新生 1,738 人を対象に、昨年度も実施した学生の困り具合（38 項目）に加えて、AQ、SESD、ADHD の調査項目から成る質問紙を実施した。得られた結果をまとめてパンフレットを作成し、理工学部教授会（7 月 4 日）と文学部教授会（7 月 18 日）で報告した。

夏休みには、立命館大学の特別ニーズ学生支援室を視察し、発達障害の学生に対する先進的な支援について学んできた。

2014 年 1 月から 2 月にかけて、全専任教職員を対象に、学修に困難を抱える学生に対する知識・理解と困った経験について尋ねる質問紙調査を実施し、職員 293 人、教員 130 人の回答を得た。この結果については、2014 年 5 月 14、15 日の多摩キャンパスでの報告会、5 月 22 日の理工学部教授会で報告する予定である

以上のように、本共同研究プロジェクトは、目的とした掲げた 3 つの課題のうち、課題 1 と課題 2 については十分達成できた。課題 3 については、共同研究の実証的データにもとづいて、教育力向上推進事業「発達障害の学生に対するトータルな学修支援」に申請し、採択された。これにより、キャンパス・ソーシャルワーカーが 2014 年度から文学部に配置されることになり、今後はより実践的に発達障害の学生に対する支援を追究していくことになる。

（英文）

This study aimed to clarify the following three points. Firstly, we examine the real situation of developmental handicapped students in Chuo University. Secondly, we visit another university to examine support system for the developmental handicapped students. Thirdly, we construct a new support system for these students in Chuo University. We held eighteen business meetings to plan our activities. We visited Ritsumeikan University to see social network system supporting developmental handicapped students. We conducted questionnaire concerning difficulties in college life for 1,738 students. We also conducted questionnaire concerning knowledge and real experiences about developmentally difficult students in daily situation for teachers and staff. One hundred thirty professors and 293 staffs answered this questionnaire. Based on these data, we set plant to support students who have much difficulties in learning and college life.

